

何を使う

- 機器 タブレット／スマートフォン等
ソフトウェア（アプリ）
- Siri／Google アシスタント



それをどう使う（それで何ができる）

- スマートフォン内蔵の AI（音声認識機能）に英語の発音を行うと、ある程度の正確さで発音ができていると、発音したものと同一英語の文章がスマートフォンの画面に表示されるため、発音の確認を手軽に行うことができる。

ここが変わる、活用メリット【ICT 活用 Before-After】

○高校 外国語

【 Before 】

- 発音のどこに課題があるかを客観的に理解しにくい。

【 After 】 **メリット**

- AI が表示する文章を見ることで、正しく認識されなかった部分がどこかわかるため、発音の練習を効率よく行うことができる。
- 生徒自身がスマホ等で行えるため、短時間で相当回数練習できる。

機器 (台数)	スマホ	タブレット	PC	その他	学習 場面	一 斉	個 別	協 働
	○	○				○	○	○
授業実施時に必要な環境→				インターネット接続	○	1人1台端末		
活用が想定 される校種	小	中	高	特	活用が想定される教科・科目等		外国語	
		○	○		活用が想定される場面		演習、自習	